



授業の様子 その1 幼稚園「手洗い」



手洗いの歌に合わせて、手の洗いを覚えているところ



絵具を手に付けて、ペタペタ。ベナンの国旗をみんなで作る



汚れた手、上手に洗えるかな？



『どうして手を洗うの？』
みんなで考え中・・・



『先生のまねをして、
ゴシゴシゴシ・・・』



下痢・発熱・嘔吐などから。。

ベナンの衛生状況は、決して良いとは言えません。学校での衛生に関する教育も、先生によって差があります。日本の学校の様に、校内のどこにでも水道があって、自由に手を洗ったり、水を使ったりできる環境とは大きく異なります。そのため、食事前やトイレの後に手を洗う習慣が身についていない子どもも少なくありません。

ベナンでは、フォークやスプーンを使わず、手で直接食べることも多いので、手洗いをせずに食事をすると、手に付いたバイ菌が、簡単に体内に入ってしまう。特に小さい子どもは、下痢や発熱などが長期間続くと、命を落とす場合もあります。小さな子どもが、元気に成長できることを願って、『手洗いソング』を使いながら、手洗いの授業を行っています。



幼稚園生は、『バイキン』と言っても、良く分かりません。なので、まずは、絵具を手いっぱい付けて、ベナンの国旗を完成させます。その後、絵具の付いた手でみんなと握手をします。

そうすると、3色の絵具が手のひらで混ざって、汚れた色になります。その手を見て、『この手で、ご飯食べられる??』と質問すると、みんなが、『食べられな一い!』と答えます。じゃあ、どうしたら良いか? 『手を洗ってからご飯を食べる!』と、自分たちで答えを見つけてくれます。少しでも多くの子どもがこの授業を覚えていて欲しいなと思いつつ活動が続いています。

授業の様子 その2 小学校 「ゴミを考える」



道路や橋の下など公共の場に、ポイ捨てのゴミがたくさん・・・

自分のゴミに責任を持とう!



ベナン人は、キレイ好きだと思います。朝早くから、ほうきで掃く音があちこちから聞こえます。家の中、家の前。自分の身の周りは、キレイに掃除をします。でも・・・自分の場所でないとすれば、平気でゴミを捨ててしまいます。また、後で誰かが、ほうきで掃くことを前提に、室内であってもゴミをポイポイ床に捨てます。習慣の違い？ それでも、気になる『ゴミ』・・・



『ゴミだらけのみんなの街、どう思う??』



『ゴミ拾い競争!』グループごとに一生懸命ゴミ拾い。



先生チームも負けてはいられません♪



どのグループが一番、ゴミを拾ったかな?



もちろん、手洗いもしっかり!



ゴミを拾った後は、どんなゴミが多かったかを検証し解決策を考える。

ゴミだらけの街の写真を見ると、どの子どもも顔をしかめます。ゴミがあると、『臭い、虫が出る、街が汚くなる』など、色々な意見が出ます。では、校庭はどうか? みんなで校庭を見ると、残念ながら、街中と同じように、子どもや教師が捨てたゴミでいっぱいです。子どもたちは、改めて、校庭にゴミがたくさん落ちているのは良くないと気付いてくれます。

そこで、『ゴミ拾い競争』です。一番、多く拾ったグループには、お手製のメダルをプレゼント。みんな一生懸命ゴミを拾います。そして、拾ったゴミの多さに驚きます。ゴミの中で一番多いのが、『買い物袋』です。大小様々ですが、ベナンでは、食べ物でも飲み物でも、何でもこの買い物袋をつかいます。子どもや教師が食べた後の袋を校庭に捨てるのです。

では、どうしたらいいのか? 当たり前の事ですが、『ゴミを捨てない』『ゴミ箱に捨てる』と、子どもたちが解決策を出してくれます。それを聞くと、自分が出すゴミに少しでも、責任を持とうと考え始めた子どもたちに嬉しくなります。



メダルをもらって、ニッコリ